

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-1-3		事業名	多自然川づくりの推進
担当	建設局下水道河川部河川計画課 村上 818-3414			
<b>全 体 計 画</b>				
事業内容	河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息環境及び多様な河川景観を保全・創出する多自然川づくりを行う。		<b>&lt;年度別の事業内容&gt;</b>	
	<p>札幌市河川環境基本計画 今後の環境整備の指針となる計画を、18年度の「さっぽろ地域川づくり座談会」でまとめられた提言を基に、パブリックコメント等により市民意見を取り入れ、策定する。</p> <p>多自然川づくり 22年度までに優先的に整備する吉田川、西野川、藤野沢川において、市民参加型の手法を取り入れ、多自然川づくりを行う。</p>		<p>19年度 札幌市河川環境基本計画の検討 多自然川づくり(吉田川、西野川、藤野沢川)</p> <p>20年度 札幌市河川環境基本計画の策定 多自然川づくり(吉田川、西野川、藤野沢川)</p> <p>21年度 多自然川づくり(西野川、藤野沢川)</p> <p>22年度 多自然川づくり(西野川、藤野沢川)</p>	
事業内容	<b>平成19年度事業内容(決算)</b>		<b>平成20年度事業内容(決算)</b>	
	<p>札幌市河川環境基本計画 ・有識者による検討会開催(4回)</p> <p>多自然川づくり 吉田川 ・現地見学会及び意見交換会の実施 ・吉田川環境整備計画の策定 西野川 L=0.05km ・河道整備 藤野沢川 ・散策路(管理用通路)整備</p>		<p>札幌市河川環境指針(名称変更) ・有識者による検討会開催(5回) ・パブリックコメント、シンポジウムの実施 ・札幌市河川環境指針策定</p> <p>多自然川づくり 吉田川 L=0.16km ・親水施設(広場、散策路等)整備 西野川 L=0.13km ・河道整備 ・散策路(管理用通路)整備 藤野沢川 L=0.07km ・河道整備 ・散策路(管理用通路)整備</p>	
事業場所	<b>平成21年度事業内容(予算)</b>		<b>平成22年度事業内容(予算)</b>	
	<p>多自然川づくり 西野川 L=0.15km ・河道整備 ・散策路(管理用通路)整備 藤野沢川 L=0.12km ・河道整備</p>			
事業規模				
事業件数				
事業等				

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-1-3			事業名	多自然川づくりの推進		
<b>達成目標の状況</b>							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
多自然川づくり整備延長	4.7km	4.8km	5.1km	5.3km	5.5km	5.5km	
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>							
<p>市民との連携、市民参加            札幌市河川環境基本計画の策定に向けた検討会を公開で開催するとともに、その結果をインターネットホームページやニュースターで公開していることから、計画への市民意見の反映が期待できる。また、吉田川では現地見学会や意見交換会を行い、市民意見を取り入れた環境整備計画を策定したことから、整備後の河川環境に対する意識の高まりが期待できる。</p> <p>企業等との連携・協働            [資金協力]            [人材協力]            [情報協力]            [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり            検討会の傍聴や、現地見学会、意見交換会の参加については、インターネットホームページや地域の回覧板を用いて広く周知する等、誰もが参加しやすいしくみとなっている。</p>							
<b>評価(成果)</b>				<b>課題</b>			
<p>札幌市河川環境基本計画            検討会の開催及びパブリックコメント、シンポジウムを実施し、札幌市河川環境指針を策定した。</p> <p>多自然川づくり            吉田川において親水施設整備及び、西野川・藤野沢川において河道整備等を実施した。</p>				<p>多自然川づくり            整備計画の策定や整備の実施の際に、市民意見を取り入れることによって、いかに河川環境について関心を高めていけるかが課題となっている。</p>			
<b>今後の事業の予定・方向</b>							
<p>今後の河川整備に際しては、市民との協働を進めるとともに、20年度に策定した札幌市河川環境指針に基づき行うことにより、自然と人がふれあえる豊かで親しみのある水辺を保全・創出していく。</p>							

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-1-3			事業名	多自然川づくりの推進		
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	163,600	232,400	105,000	81,000	582,000		
	財源内訳							
	国・道支出金	104,000	132,000	70,000	54,000	360,000		
	市の債	46,000	59,000	31,000	24,000	160,000		
	その他の他	0	0	0	0	0		
一般財源	13,600	41,400	4,000	3,000	62,000			
予算	事業費	163,600	203,000	156,000	-	522,600		
	財源内訳							
	国・道支出金	104,000	108,000	104,000		316,000		
	市の債	46,000	48,000	46,000		140,000		
	その他の他	0	0	0		0		
一般財源	13,600	47,000	6,000		66,600			
実績	事業費	183,508	165,431	-	-	348,939		
	財源内訳							
	国・道支出金	114,600	86,000			200,600		
	市の債	51,000	38,000			89,000		
	その他の他	0	0			0		
一般財源	17,908	41,431			59,339			
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					86.8%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)								
(全体)								
[19年度]								
[20年度] 西野川において、地権者との交渉により用地取得を次年度に変更したため								
[21年度] 西野川において、取得年度を変更した用地を今年度取得するため								